

# 恵庭子ども未来議会 一般質問通告書

令和2年恵庭子ども未来議会第2回定例会において次の一般質問を行なうので通告します。

令和 2年 10月 16日

恵庭子ども未来議会議員 奥村 莓花  
伊藤 颯菜  
大月 太陽

恵庭子ども未来議長 奥村 莓花 様

	学校名 恵明中学校	ページ 2～1
大項目	恵庭のまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
恵庭市の経済対策について	<p>現在、恵庭市の人口は70,092人（2020年9月末現在）となっており、年々増加傾向にあるなど多くの人が恵庭市に住みたい希望があると思います。こうした人口増加の背景には、恵庭市が実施したさまざまな経済対策が行われていると思いますが、以下数点についてお伺いします。</p> <p>①恵庭市にはシェアオフィスが2019年に設立され、様々な企業の形に対応する工夫をしながら経済発展を目指しているかと思えます。ですが、大きな実績が挙げられていない今、シェアオフィスの在り方の改善が求められていると考えました。そのためにはまずシェアオフィスとして空き家を使用し、飲食をしながら休憩をとるスペースや意見交流をよりしやすいスペースの確保をするなどの更なる工夫が必要だと思えます。そのことについての見解をお伺いします。</p> <p>②現在、恵庭では商業発展のため「えにわんチケット」が導入されているかと思えます。このチケットは一時的なものであり、私達の子どもの世代まで継続されるわけではないかと思えます。そこで、現在介護福祉課が中心となって取り組んでいるボランティアポイントの「あったまーるポイント」のポイント還元を地域通貨とするなど恵庭独自の通貨の取り組みをすることで、恵庭の長期的な経済発展とボランティア活動参加への促進を目指すことが可能となり、恵庭市のさらなる発展につながると考えますが、そのことについての見解をお伺いします。</p>	

	学校名 恵 明 中 学 校	ページ 2～2
大 項 目	恵庭市のまちづくりについて	
小 項 目	質 問 の 要 旨	
様々な世代間交流を基盤とする市民交流の場について	<p>地域の発展のため、世代間交流の必要性が叫ばれています。家庭や職場など様々なコミュニティを形成していく中で多くの学びを得ることが可能となります。今後の社会を担う私達が、情勢が変わりゆく社会で自立していくために必要な「生きる力」を習得するための機会を設けるため、家庭や学校だけではなく地域社会の教育資源を活用した世代間交流活動・異文化交流をする場をつくる必要があると思いますが、現状の考えと今後の方向性についてお伺いします。</p> <p>①本校の今年度の文化祭活動では、保護者の多くが子育て支援の充実を求めていることが調査の結果、判明しました。私達は、例えば子育て支援のために、教員志望の学生が無料で勉強を教えたり、高齢者が幼児を見守る保育をしたり、使わなくなった服の無料リサイクルをしたりするなど様々な世代が交流しながら恵庭市全体として子育てをサポートすることのできる体制が必要だと考えますが、それについての見解をお伺いします。</p> <p>②空の玄関である新千歳空港が隣接する恵庭市には、今後多くの外国の方々が移住することも想定されることと思いますが、その際、グローバルな視点での外国の方々との交流も恵庭市の発展には大きな意義をもつものと考えます。今後の見通しについて、お伺いします。</p>	

# 恵庭子ども未来議会 一般質問通告書

令和2年恵庭子ども未来議会第2回定例会において次の一般質問を行なうので通告します。

令和2年10月16日

恵庭子ども未来議会議員 齋藤 利久也

入来院 帆南

茶園 奏子

恵庭子ども未来議長 奥村 苺花 様

	学校名 柏陽中学校	ページ 2～1
大項目	人が集うまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
市民が集うまちづくりについて	<p>私たちは、全校生徒にアンケートに協力してもらいました。「あなたはこれからも恵庭市に住みたいと感じますか」という質問に対して、学年が上がるにつれ、恵庭市に住みたいという生徒の数が減少し、どちらかといえば住みたい、どちらかと言えば市外に引っ越したいという回答が多くなっていきました。</p> <p>今後少子高齢化の影響で人口が減ることが予想されています。そんな中でも活気のあるまちであるためには、恵庭市に住みたい！という人を増やすことが必要ではないかと考えます。</p> <p>以下について質問させていただきます。</p> <p>①現在、恵庭市には出産のできる病院がなく、出産をするには千歳か札幌までいかなければなりません。出産に際して不安になる人もいるのではないかと考えます。市内に産院を作るべきだと思いますが、どうお考えでしょうか。</p> <p>②市民プールや屋内体育館など、市外に行かなくても中学生や高校生が集える施設を増やすべきだと思いますが、どうお考えでしょうか。</p>	

	学校名 柏陽中学校	ページ 2～2
大項目	人が集うまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
観光客が集うまちづくりについて	<p>恵庭市は、観光を目的として恵庭市を訪れる観光客は少なく、ただ多くの車が通過するまちに過ぎないのではないかと考えます。そこで、道内や道外、海外からの観光客に恵庭市を訪れてもらうための取り組みについて伺います。</p> <p>①恵庭市は面積の半分が森林であることから、自然豊かな環境を活かしたアウトドア施設を作るべきだと考えます。コテージやグランピングができる施設や広大なキャンプサイトがあれば、多くの人々が自然を満喫しに訪れるのではないかと考えます。恵庭の自然を活かした新たなキャンプ場の開設について、どのように考えているのか伺います。</p> <p>②新しい観光施設「はなふる」が11月11日にオープンし、その中に宿泊施設ができると聞いております。しかし、「はなふる」の周辺には観光客が地元の人と交流したり、関わったりする飲食店や、お土産屋さんが少ないと感じます。恵庭市に滞在する観光客を増やすには、道の駅以外に宿泊施設の近辺に飲食店や買い物ができるお店が必要ではないかと考えますが、はなふるの周辺の整備についてどのように考えているのか伺います</p> <p>③札幌であれば味噌ラーメン、締めパフェ、スープカレー、函館であれば塩ラーメンや有名ハンバーガー店、いかめしなどがあつたりします。恵庭市には、恵庭と言えばコレ!というような特産物や食べ物がないと考えます。また、他市では地元の高校や大学、地元企業とコラボ商品を共同開発したりしています。1人でも多くの人に恵庭市に立ち寄ってもらうために、ご当地グルメの開発に関してどのように考えているのか伺います。</p>	

# 恵庭子ども未来議会 一般質問通告書

令和2年恵庭子ども未来議会第2回定例会において次の一般質問を行なうので通告します。

令和2年10月16日

恵庭子ども未来議会議員 堀 周平  
吉田 時也  
越川 直幸

恵庭子ども未来議長 奥村 苺花 様

	学校名 恵北中学校	ページ 4～1
大項目	恵庭市における「住みよい街づくり」	
小項目	質問の要旨	
	<p>本校では今回の子ども未来議会に向けて7月27日に全校アンケートを実施し164名(93%)から回答を得ました。その結果、「恵庭市は住みやすい街だと思うか」という問いでは「あてはまる」「ややあてはまる」が全体の67%と7割近い生徒が「住みやすい」と答えています。一方、「将来も恵庭市に住みたいと思うか」という問いでは「どちらともいえない」が全体の58%と最も多く、「あてはまる」「ややあてはまる」は全体の26%に留まるという結果でした。「あてはまらない」「あまりあてはまらない」と答えた理由としては、ショッピングモールが少ない、観光スポットが少ない、道が悪いなどが挙げられています。また、「恵庭市が今よりもっと住みやすくなるためのアイデア」ではバリアフリー化、道の整備、ごみの削減、ショッピングモールや映画館があると良い、特産物を増やす、などの意見が挙がっていました。</p> <p>以上のことを踏まえて本校では「恵庭市における『住みよい街づくり』」について大きく3点に絞って質問させていただきます。</p>	

	学校名 恵北中学校	ページ 4～2
大項目	恵庭市における「住みよい街づくり」	
小項目	質問の要旨	
恵庭市のバリアフリー化について	<p>1点目は「恵庭市のバリアフリー化」についてです。恵庭市は自然も多くとても良いところだと思っています。ですが、まだ舗装されていない車道や歩道などが多くあると感じます。実際に私の恵庭市に住んでいる祖父母の話で「買い物の帰り道に歩道の少しの凹凸で転びそうになった」「杖をついていても歩道の凹凸で転びそうになるから心配だ」など高齢者の方々にしか分からない意見がありました。このような意見から足の不自由な方は杖をついていても転んでしまうことがあるということが分かりました。車道や歩道の整備はもちろん、公共施設のバリアフリー化も時代の流れであり、少子高齢化社会の中で対策が急がれる課題になっていると思います。日本全体の問題とともれますが恵庭市はどのようなバリアフリー化を行っているのか、そして今後バリアフリー化についてどのようなことを行っていくのかという点についてお伺いします。</p>	
駅前商業施設について	<p>2点目は「駅前商業施設」についてです。本校の越川議員が父母から聞いた話では「お土産やお中元を買うときいつも恵み野駅前商業施設で買っていたが、それが無くなってから、札幌や千歳に行って買っていて移動に時間がかかる」ということでした。また、友人からは「恵み野駅前商業施設がある時は駅前も活気があったが、それが無くなってから活気がなくなった」という話を聞きました。先ほどの全校アンケートでも、「以前は恵庭にも映画館があったが今はないため、やはり札幌や千歳などに行かないと見られない」などの声が挙がっています。そこで、(1)恵み野駅前商業施設跡が別の商業施設になる予定はあるのか、(2)商業施設以外で何か施設の活用計画はあるのか、併せて(3)恵庭市に映画館ができる予定はあるのかについてお伺いします。</p>	

	学校名 恵北中学校	ページ 4～3
大項目	恵庭市における「住みよい街づくり」	
小項目	質問の要旨	
恵庭市のPR戦略について	<p>3点目は「恵庭市のPR戦略」についてです。本校の吉田議員が帯広に住んでいた姉に会いに行く途中で、豚丼の大きな看板を見て、ちょうどお昼だったので「おいしそう」ということになりそこに立ち寄ったそうです。その時は何事もなく、その看板を見て「おいしそう」の一言でそこに行っただのですが、改めて考えると、その看板は「大きい道路」「広い道路」「広い駐車場」など人目につきやすいところにあり、その場所には「帯広の特産品で作ったメニュー」「寄り道セット」「ゆったりできるスペース」があったことに気がついたそうです。また、吉田議員の知り合いの北見市在住の親戚の方からは「恵庭は大きい道路はたくさんあるのに大きな看板が無い。そして、えこりん村などへのルート情報が少なく分からない」という声があったと聞きました。最近では車載ナビもありますがナビがなくても行けるのが理想的だと思います。また、全校アンケートでは「恵庭市の『おすすめ』を教えてください」という問いに対して1位～道の駅（78票）、2位～えこりん村（36票）、3位～えびすかぼちゃ（31票）だった他、自然、るるまっぷ公園、郷土資料館、カリンバ遺跡、三段の滝なども挙がっていました。このようにたくさんの魅力がある恵庭市ですが、千歳から札幌への通過点となっているようにも感じます。そこで、どうしたら千歳から「恵庭に立ち寄って」札幌へというように、「立ち寄ってもらえる街」になるかについて、恵庭市としての現在そして今後のPR戦略の具体策をお伺いします。</p>	

	学校名 恵北中学校	ページ 4～4
大項目	恵庭市における「住みよい街づくり」	
小項目	質問の要旨	
	<p>最後になりますが、全校アンケートで「住みやすい」「将来も住みたい」と答えた生徒の声を幾つか紹介させていただきます。住みやすい理由～花がきれい、緑（自然）が多い、食べ物・水がおいしい、みんな優しい、運動できる所が多い、施設が揃っている、札幌に近い、都会ではないのがいい…。将来も住みたい理由～自然が多くて好き、恵庭市が好き、将来の夢と合っている、体育館が多い、静かで治安がいい、愛着がある、住みやすい…。このように本校の多くの生徒が住みやすいと感じている恵庭市です。これから「未来の恵庭市」がますます住みやすい街になることを願って質問を終えます。</p>	



	学校名 恵み野中学校	ページ 3～2
大項目	恵庭市のまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
図書推進におけるイベントの開催や施設の在り方について	<p>複合施設は、公園、図書、飲食、買い物等の様々な目的に利用することができるため、買い物をする大人だけでなく、友達と遊んだり、勉強をしたりする場所として中学生や高校生にもとてもよりよい施設になると思います。また、この施設を利用する様々な年代の人が交流することにより、中学生や高校生がより恵み野地区の活性化について考えていくきっかけにもなると考えます。この件につきまして見解をお伺いします。</p> <p>2点目は、「図書推進におけるイベントの開催や施設の在り方」についてです。恵庭市は花と本の街ということで様々な活動を行っていると思います。道の駅での販売や、恵庭市の中学校での花壇整備など花に関する取組は数多くありますが、本に関する取組はあまり知りませんでした。資料をもらい調べてみたところ、「恵庭まちじゅう図書館」やブックスタート」等、図書に親しむ事業をいくつか行っていることがわかり、大変素敵な取組があることを知りました。このような取組をより多くの人に理解してもらい、これまで以上に図書に親しんでもらうために、図書に関わる施設の整備する必要があると考えます。紙の図書だけでなく、電子書籍やゲーム・音楽活動可能な部屋の導入だけでなく、その施設を中心としたフリーマーケットやサイン会、トークショーなどの大規模な図書イベントを行うことで、来てくれたお客さんが図書に親しみ、また恵庭の取組についても知ってもらう機会になると思いますが、見解をお伺いします。</p>	

	学校名 恵み野中学校	ページ 3～3
大項目	恵庭市のまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
郷土資料館の有効利用と周辺地域の活性化について	<p>3点目は、「郷土資料館の有効利用と周辺地域の活性化」についてです。今回の未来議会にむけて、本校生徒会では郷土資料館を見学に行きました。そこで、恵庭には北海道全体でみてもとても歴史のある地域であることや、貴重な遺跡が発掘されていることを学ぶことができました。そして、私たちは恵庭の歴史や文化についてもっとよく知るべきだと感じました。知ることで、より恵庭を好きになり、恵庭の発展のために何ができるか考えるきっかけになると考えたからです。そこで、郷土資料館を中心とした周辺地域の活性化についてお伺いします。</p> <p>資料館周辺は現在ではコンビニなどもなく、賑わいが少なくなっているように感じます。また、恵み野の一部地域では高齢化が進んでいると聞いております。資料館を中心とした複合施設を建設し、アイヌや恵庭の文化について学べる図書貸し出しや飲食が可能な空間をつくることで、高齢者だけでなく、私たち中学生や高校生も利用し、学ぶ中で多くの年代が交流を深める場所になると考えますが、見解をお伺いします。</p>	

# 恵庭子ども未来議会 一般質問通告書

令和2年恵庭子ども未来議会第2回定例会において次の一般質問を行なうので通告します。

令和2年10月16日

恵庭子ども未来議会議員 石尾 志津真  
三浦 ひなた  
廣島 未羽

恵庭子ども未来議長 奥村 苺花 様

	学校名 恵庭中学校	ページ 2～1
大項目	居場所があるまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
中学生の居場所づくりについて	<p>私たちが住んでいる恵庭市には、中学生が出かけたり、集まったりする場所がとても少ないです。</p> <p>「かしわのもり」や「えにあす」は、幼児と親子連れの人たちが多くことや、高校生が多いことから中学生としては居づらさを感じます。勉強したいときに集中して学習に取り組める環境や、親が仕事で留守の際に、友達と集まって過ごせるような場所が必要だと思います。</p> <p>そこで中学生が自由に利用できる個室型学習室や友達と過ごせる多目的室のような場所を校区内に作ってほしいと思います。</p> <p>また、中学生の居場所づくりについて、どのように考えているのか、お伺いいたします。</p>	

	学校名 恵庭中学校	ページ 2～2
大項目	居場所があるまちづくりについて	
小項目	質問の要旨	
子どもが安心して集える公園の整備について	<p>昔、公園にはたくさんの種類の遊具がそろっていましたが、今は、小さい子どもに配慮して、安全でコンパクトな遊具しか設置されていません。外で遊ぶ小・中学生が減ったのは、この事も原因の一つではないかと感じます。安全対策はもちろん大事ですが、子どもたちが思い切り体を動かすには魅力あふれる多くの種類の遊具が必要だと思います。また、情報化が進む現代において、公園 WIFI の整備を進めることで多くの人が集える場所になるとも考えています。</p> <p>屋外で子どもたちがのびのびと過ごせるような公園整備について、どのように考えているのかをお伺いいたします。</p>	
いつでもスポーツができるまちづくりについて	<p>「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」を宣言している恵庭市ですが、市民が気軽にスポーツに親しむことができる環境が少ないように感じます。</p> <p>市内にある公園の何か所かでよいので、バスケットゴールやサッカーゴール等を設置すると、中学生に限らず、気軽に外で思い切り体を動かすことができるのではないかと思います。また、冬場の公園においても、体を動かせるような工夫をしてほしいと思います。</p> <p>屋外での居場所づくりの一つとして、環境整備に取り組んでほしいと思いますが、どのように考えているのか、お伺いいたします。</p>	